

令和 6 年度 事業報告書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

一般財団法人 防災研究協会

I 実施事業等

1. 助成金事業

(1) 災害の防止並びに軽減に関する研究の助成

①若手研究者への研究助成

当法人が開設するホームページに掲載し、国内外に公募したところ 11 名から応募 (6,265 千円) があり、業務運営委員会において審査した結果、5 名に対して研究の助成を行うことを決定し、総額 1,990 千円の助成金を交付した。助成対象者等詳細は下表のとおりである。

氏 名	所属等	研究課題	交付額 (円)
崎山 賢人	京都大学大学院工学研究科 博士後期課程	エージェントベース人口動態モデルの開発と人口減少社会における水災害対策の検討	400,000
木戸 隆之祐	広島大学大学院先進理工系科学研究科 准教授	再液状化抑制に対する微生物固化処理の効果検証	400,000
山本 眞暉	京都大学大学院工学研究科 博士後期課程	電気比抵抗を利用した地盤の密度推定手法のフレームワーク構築	390,000
佐藤 顕彦	京都大学大学院工学研究科 研究員	鋼製橋脚の地震時応答予測の高精度化に向けたデジタルツインに関する研究	400,000
佐々木 勇人	大阪大学大学院理学研究科 博士後期課程	浮遊粒子層の変形実験による土石流中の粒子運動メカニズムの解明	400,000
計	5 名	5 件	1,990,000

②研究発表会等共催（後援）の助成

当法人が開設するホームページに掲載し、国内外に公募したところ 5 件の応募 (2,400 千円) があり、業務運営委員会において審査した結

果、4件に対して助成することを決定し、総額 900 千円の助成金を交付した。助成対象等詳細は下表のとおりである。

名 称	開催日	申請者	助成額（円）
第 43 回日本自然災害学会学術講演会・令和 6 年度自然災害に関するオープンフォーラム「親子で学ぼう地震防災～防災勇士トリプルウィング～」	2024/9/19～ 2024/9/21	千葉大学大学院融合理工学府 教授 丸山 喜久	200,000
第 11 回複合土砂災害に関する国際ワークショップ 2024(MSD11)	2024/10/30～ 2024/11/1	新潟大学農学部 教授 権田 豊	100,000
第 28 回水シンポジウム 2024 in ながの	2024/10/31～ 2024/11/1	第 28 回水シンポジウム 2024 in ながの実行委員会 幹事長 佐山 敬洋	200,000
京都大学防災研究所研究発表講演会	2025/2/20～ 2025/2/21	京都大学防災研究所 所 長 堀 智晴	400,000
計	4 件		900,000

なお、これら①及び②の事業に要する資金を調達するため、防災調査研究助成基金のうち 3,000 千円を取り崩した。

③奨学寄附

本助成金事業の主財源は、「その他会計（受託研究事業）」から生じる剰余金であるが、本年度においては、本助成金事業を実施するための十分な財源の確保が難しかったため、実施を見送ったものである。

2. 知識普及事業

（1）災害の防止並びに軽減に関する知識の普及

①研究報告の作成

研究論文（報告課題数 17 件）を取りまとめ、「研究報告第 47 号」（別冊）を作成した。

②ホームページによる公表

上記の「研究報告第47号」に収録した17編の研究論文を、当法人が8月により見やすくリニューアルしたホームページに掲載し、広く内外に公開した。

(2) 研究報告に係る原稿執筆等謝金の支給

研究報告の作成及び公表のため、原稿執筆等謝金として 9件 755千円を支給した。

3. 自主研究事業

(1) 災害の防止並びに軽減に関する自主研究（課題研究等）の実施

下表のとおり、合計10件、研究受託に基づかない自主研究を実施した。

研究分担課題	担当者
土砂災害の危険に曝された脆弱な居住圏における災害危険度軽減のための危険度予測の研究	佐々恭二
岡山県南部の基盤構造モデルの改良と地震災害予測に関する研究	赤松純平
地すべり発生機構と移動機構の解明	末峯 章
気象災害に関する研究	林 泰一
流域治水に関する研究	中川 一
土砂災害の機構と対策に関する研究	江頭進治
構造物の安心・安全と長寿命化・修景に関する研究	家村浩和
災害復旧・復興における地盤環境の保全	嘉門雅史
環境エネルギー分野における機械学習の適用研究	松岡俊文
地盤災害の防止低減に関する研究	木村 亮

Ⅱ．その他事業

1．受託研究事業

(1) 災害の防止並びに軽減に関する調査及び研究

下表のとおり、合計 28 件、56,150,410 円の研究委託を受け、調査及び研究を実施した。

調査研究事項	担当者
(令和5年度から継続研究の分)	
鋼管矢板の施工における品質確保に関する検討	木村 亮
PC-壁体を用いた河川堤防「ラストウォール」の性能評価	肥後陽介
PC-壁体を用いた河川堤防「ラストウォール」に関する実験的研究	音田慎一郎
CCS/CCUS における大学の研究動向に関する事例調査	武川順一
清水建設㈱の現場と開発技術に関する指導	木村 亮
制振機構を有するケーブルにおける張力等の算定に関する共同研究	古川愛子
各種地盤改良に関するメカニズムや効果確認手法の検討	肥後陽介
真空圧密ドレーン工法の施工法の高度化に関する研究	木村 亮
盛土下部に敷設した水平ドレーンの液状化低減効果に関する数値解析	肥後陽介
軟弱地盤の改良に関する研究(その16)	嘉門雅史
モジュラー工法の有効性に関する研究(その8)	澤村康生
¹⁰ Be 年代測定を用いた断層活動性評価手法に関する研究 2024 年度	松四雄騎
海底マスマーブメントの分類指標等に関する検討(その2)	松四雄騎
河川堤防の防災にかかる技術研究開発(その2)	肥後陽介
海外水力開発に係る斜面解析モデルに関する検討委託(2024 年度)	岸田 潔
3ヒンジアーチカルバートの縦断方向の耐震性能評価手法に関する研究(その9)	澤村康生
地すべり災害リスクの理解と軽減に関する研究	佐々恭二
(令和6年度から新規研究の分)	
コアを用いた原位置応力測定に関する技術指導	林 為人
直接埋設型ベローズの板厚計算方法の開発	古川愛子
濡れ性変化による炭酸塩岩貯留層の残油回収メカニズムの研究	小林和弥
姫路港広畑地区臨港道路(網干沖線)橋梁の断面形状選定に関する調査業務	八木知己
給水装置引き込み部の耐震性評価の確立	古川愛子
地盤内空洞直上の振動応答に関する検討	一井康二
FLIP プログラムによる 2024 年能登半島地震における液状化被害の分析	上田恭平
北海道新幹線、渡島トンネル(南鶉)岩盤 ASR 計測	山本由弦
弾性波トモグラフィ法によるコンクリート健全度調査業務	塩谷智基
ワイヤケーブルおよび支え治具に作用する風雪荷重の評価に関する委託業務	松宮央登
非ダルシー流れを考慮した地盤の動的解析法の研究	岡 二三生

(2) 災害の防止並びに軽減に関する研究の助成並びに知識の普及に係る事業に対する支援

① 奨学寄附

災害の防止並びに軽減に関する研究助成の一環として、下表のとおり奨学寄附を行った。

寄附先	件数	金額(円)
国立大学法人京都大学	3	4,800,000
関西大学	1	500,000
計	4	5,300,000

② 知識普及事業の強化

研究報告の原稿執筆等謝金を支給するために必要な資金 755 千円を知識普及事業へ繰り入れた。

Ⅲ. 総務事項等

令和 7 年 3 月 31 日現在

1. 会議等の開催

(1) 評議員会 令和 6 年 6 月 1 7 日 (月) 開催

(2) 理事会 令和 6 年 5 月 2 2 日 (水) 開催
 令和 7 年 3 月 1 7 日 (月) 開催

(3) 委員会

①業務運営委員会 (奇数月の第 2 金曜日) 年 6 回開催

但し、1 月は第 3 金曜日に開催

※メール審議にて開催 (7 月・1 1 月 対面開催)

2. 評議員・役員等

(1) 評議員 [5 名]

評議員会会長	池 淵 周 一
評議員	寶 馨
〃	栗 田 秀 明
〃	合 川 正 弘
〃	藤 田 正 治

(2) 役員 [理事 5 名、監事 2 名]

理 事 長	中 川 一
総務理事	石 原 和 弘
会計理事	木 村 亮
理 事	清 野 純 史
〃	八 木 知 己
監 事	岡 田 憲 夫
〃	田 村 京 市

(3) 研究員

常勤研究員	1 名	非常勤研究員	1 2 6 名
-------	-----	--------	---------